

特定建築物排出量削減計画書

(宛先) 京都府知事	年 月 日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 大阪府吹田市内本町三丁目34番14号	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 大幸薬品株式会社 代表取締役社長 柴田 高

工 事 の 種 別	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築			
工事着工予定年月日	2014 年 6月 1日			
工事完了予定年月日	2015 年 4月 30日			
特定建築物 の概要	名 称	大幸薬品株式会社 京都工場新設計画		
	所 在 地	京都府相楽郡精華町光台1丁目2-1		
	構 造	鉄骨造	階 数	地 上 3 階 地 下 階
	敷 地 面 積	21,432.49平方メートル	高 さ	20.970メートル
	建 築 面 積	3,290.86平方メートル	床 面 積 の 合 計 (増築部分の床面積)	8,870.26 平方メートル (平方メートル)
	用途別の床面積	住 宅	平方メートル	
		ホ テ ル 等		
		病 院 等		
		物品販売業を営む店舗等		
		事 務 所 等	1,708.62 平方メートル	
学 校 等				
飲 食 店 等				
集 会 所 等				
	工 場 等	7,161.64 平方メートル		
特定建築物の環境の保全についての配慮に係る性能に関する評価結果			BEE = 1.0、B+	

府内産木材等の使用	府内産木材等の種類と使用量	① 11条の2第1号ア該当木材等 ② 第11条の2第1号イ該当木材等 ③ 第11条の2第2号該当木材等 ④ 11条の2第3号該当木材等 府内産木材等の使用量の合計量 (①+②+③+④)	0立方メートル 0立方メートル 0立方メートル 0立方メートル 0立方メートル
	使用する用途		
	府内産木材等の使用基準量		0立方メートル
	当該建築物における木材の使用量の合計量		0立方メートル
	木材が使用可能な居室の合計面積		0平方メートル
再生可能エネルギーを利用するための設備の導入	再生可能エネルギーを利用するための設備の種類	年間で利用可能な再生可能エネルギーの量	
	①太陽光		37,489メガジュール
	②風力		メガジュール
	③水力		メガジュール
	④地熱		メガジュール
	⑤太陽熱		メガジュール
	⑥バイオマス		メガジュール
	⑦その他()		メガジュール
再生可能エネルギーの利用量の合計量 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦)		37,489メガジュール	
温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施する措置		概 要	
<input checked="" type="checkbox"/> 外壁、屋根又は床の断熱	外壁：金属製断熱サド・イツパ® 襦 屋根：ダブル折板（ガラスウール充填）、断熱性シート防水		
<input checked="" type="checkbox"/> 窓の断熱又は日射の遮蔽	ペアガラス（ガラス5mm+空気層5mm+ガラス5mm）		
<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー消費効率の高い設備の導入	高効率冷熱源設備：空冷冷専モジュールチラー		
<input type="checkbox"/> 環境への負荷が少ない材料の利用			
<input checked="" type="checkbox"/> 節水型設備の設置	大便器・小便器		
<input type="checkbox"/> 雨水、雑排水等の利用			
<input type="checkbox"/> 耐用年数が高い材料及び設備の利用			
<input type="checkbox"/> 建築物の維持管理の容易性に対する配慮			
<input type="checkbox"/> 緑化の実施			
<input type="checkbox"/> その他			

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。

2 この計画書には、次に掲げる事項が分かる書類を添付してください。

(1) 再生可能エネルギーを利用するために導入しようとする設備の内容

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施しようとする措置の内容

3 「府内産木材等の使用基準量」には、第22条第3項の規定により算出した数値を記入の上、その算出の根拠となる資料を添付してください。